

平成28年度学校・家庭・地域連携サポート事業

# 「フォローアップ研修」

- 目的： 県中域内の家庭教育支援者が、幼稚園・保育所・小・中学校のPTA懇談会、就学時健康診断、公民館活動等で家庭教育学級等のファシリテーターや講師を務めるための知識・技能や実践力を高める。
- 日時： 平成28年10月28日（金）10：15～15：45
- 会場： コミュタン福島ー福島県環境創造センター交流棟

## □事業説明

「平成28年度福島県の家庭教育関連事業」について

発表者 県中教育事務所総務社会教育課 社会教育主事 猪狩 仁

平成28年度福島県の家庭教育関連事業の概要について、県及び県中域内の課題も含めて説明を行った。また、本研修会の目的や事業全体の中での位置付けの他、「地域家庭教育推進県中ブロック会議」や「家庭教育応援企業」「親子の学び応援講座」など、個々の事業についても取組の様子を紹介した。

## □講演

「ひとりの百歩より百人の一步」

講師 白石モータース代表取締役 白石 高司 氏

不良少年だった高校生時代や大病で生死の境をさまよった学生時代の話に始まり、自らの子育ての経験や、様々な人々(師)や言葉との出会いなど、豊かな実体験に基づいた講演をして頂いた。

「一大事とは、本日只今なり」(井上日宏氏)、「便器を磨くと心がきれいになるんですよ」(鍵山秀三郎氏)など、白石氏の人生を変えた人との出会い、言葉との出会いは、多くの研修者の心に響く内容だった。

## 【研修者の感想】

- 人や言葉との出会い、人との接し方が成長への手掛かりとなることや接し方、コミュニケーションの取り方が人の成長のサポートになることなど、多くを学ぶことができました。
- 人との出会いはとても影響を受けるものだと改めて感じました。子どもとの出会いにも感謝して頑張っていきたいと思います。

## □講義・演習

「家庭教育支援者が知っておきたいコーチングの基礎」

講師 有限会社スタイルプロデュース代表 門馬 俊光 氏

コーチングの様々なスキルを身に付けるためには多くの時間(練習と反復)が必要となることを、門馬氏は「コーチングはスポーツに似ている。」と述べている。

今回の講義・演習では、研修生の興味・関心やレベルを的確に把握した上で、「正しい相手との関わり方」や「コーチングが機能する基本的な土台作り」等の視点から、具体的な事例や演習をもとに、その基礎的な内容について分かりやすく教えて頂いた。

## 【研修者の感想】

- 相手に教えるのではなく、相手の中にある物を引き出していくことが大切だと知りました。「存在承認」を常に考えながら仕事や家庭に生かしていきたいと思います。
- 自分自身が輝くことで、子どもたちの自己肯定感に良い影響があると聞きなるほどと思いました。すり切れないよう、自分を大切にやっていきたいと思います。